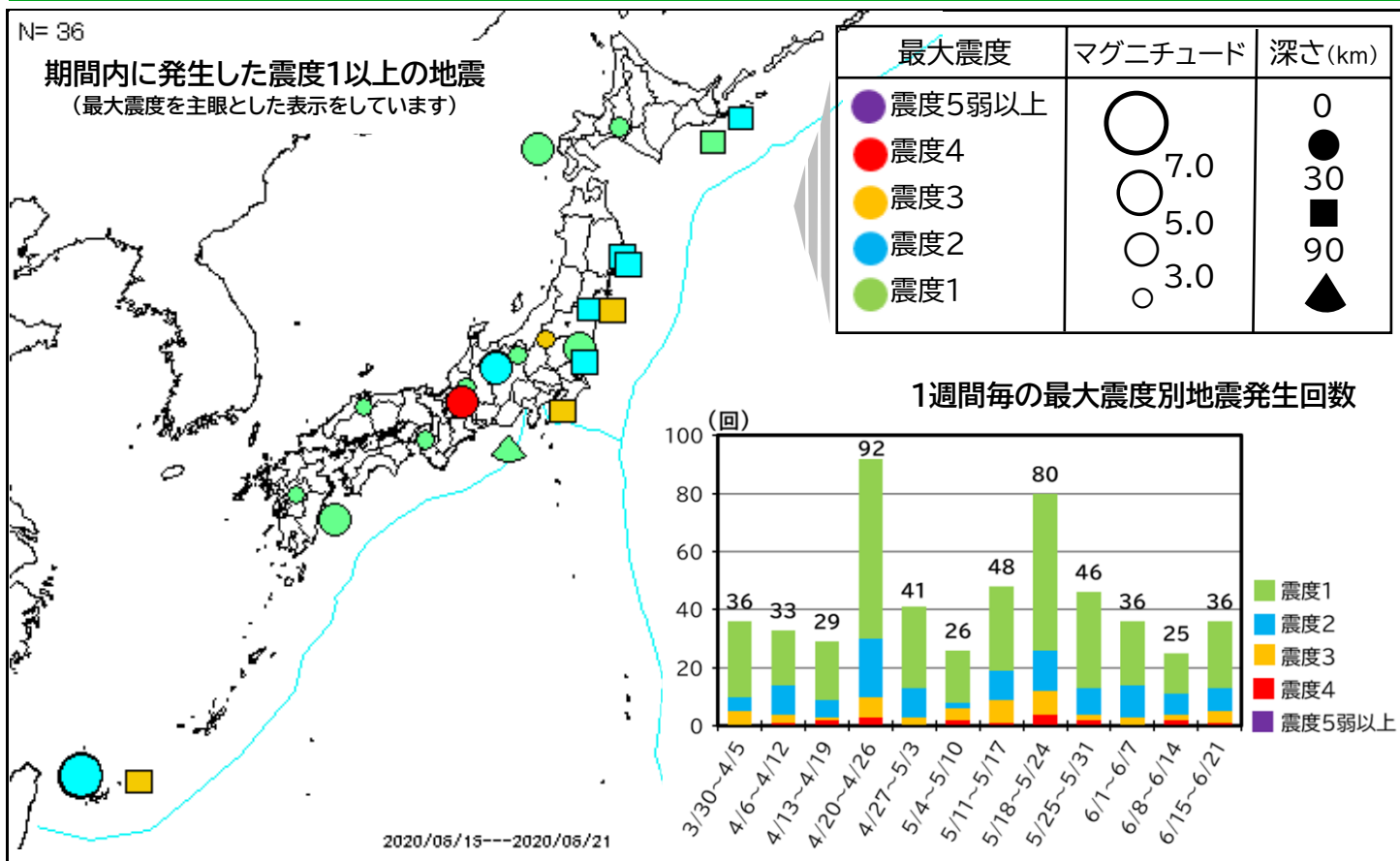


この期間の最大震度は4 長野・岐阜県境は今期間3回

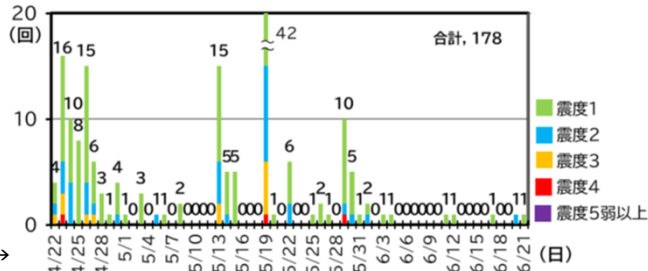
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が36回発生。最大震度は4。長野・岐阜県境は今期間3回 ■
- ・17日15時03分に岐阜県美濃中西部で発生した地震(M4.4、深さ6km)により、岐阜県養老町で震度4を観測。この地震は地殻内で発生した逆断層型。この付近でM4を超える地震は1924年以降10回で珍しい。
- ・20日09時10分に福島県会津で発生した地震(M2.6、深さ10km)により福島県檜枝岐村で震度3を観測。震度観測点の足元で発生したためMの割に大きな震度となった。なお、全国で震度3となった最小Mは1.0(本資料9号参照)。
- ・長野県中部(長野・岐阜県境付近)は今期間3回のみ(右図)。

岐阜・長野県境付近の最大震度別・日別発生回数→



トピックス

■ 福井地震 ■

28日(1948年(S23))は福井地震(M7.1)が発生した日です。
 ・地震の規模はM7.1で、震度は当時の震度階級では最大の震度6を福井市で観測。
 ・軟弱な地盤が広がる福井平野の集落では家屋の全壊率が100%に達するところもあり、住家の全壊が36,000棟を超え、3,769名の方が亡くなりました。
 ・建物の倒壊率が非常に高かったことなどから、この地震を契機として、それまでの震度0(無感)から震度6(烈震)までの震度階級に、新たに震度7(激震)を加えた新しい震度階級が翌年に設定された。この震度7は1995(H7)年の兵庫県南部地震(M7.3)で初めて適用された。
 ・体に感じない地震を含めた余震の発生状況は右図のとおり。
 ・福井地震を契機として生まれた「激震」という用語は、1996(H8)年から使わなくなりましたが、新聞などでは永田町用語として今でも使われ続けているようです。

